

(2) がん専門薬剤師養成コース

授 業 科 目	医理工農 連携プログラム開 設科目	授業を行 う年次	単 位 数			必修・選択 の別
			講義	演習	実験 実習	
生命科学概論		1	1			必修
人体形態学		1	2			必修
人体機能学		1	2			必修
病理病態学		1	2			必修
社会医学		1	2			必修
医の倫理学		1	2			必修
臨床医学概論		1	2			必修
病態生理に基づいた薬物治療学		1	2			必修
腫瘍の発生・増殖とその制御		1	2			必修
抗悪性腫瘍薬の臨床薬物動態学		1	2			必修
医科学演習		1・2		3		必修
医科学特別研究		1・2		6		必修
老年医学		1・2	2			選択
リハビリテーション医学		1・2	2			選択
先天代謝異常学・臨床遺伝学		1・2	2			選択
胎児・生殖医学		1・2	2			選択
発生工学・実験動物学		1・2	2			選択
再生医学・組織工学		1・2	2			選択
医食同源の科学		1・2	2			選択
母子保健・教育		1・2	2			選択
医療情報学		1・2	2			選択
精神神経科学		1・2	2			選択
生活環境と健康の科学		1・2	2			選択
環境生理学		1・2	2			選択
免疫学（生体防御システム学）		1・2	2			選択
生体情報伝達学		1・2	2			選択
地域医療学		1・2	2			選択
医療社会学		1・2	2			選択
持続性科学とSDGs		1・2	2			選択
医療のための光工学の基礎	○	1・2	2			選択
機能性物質・食品の応用の基礎	○	1・2	2			選択
医生物学への数学・情報科学の接点	○	1・2	2			選択
臨床・社会・環境医学と高度情報学の接点	○	1・2	2			選択
理工医学のための生物材料学の基礎	○	1・2	2			選択
放射線の医療応用と同位元素の水環境への影響 I	○	1・2	2			選択
発明の権利化と社会貢献	○	1・2	2			選択
研究と倫理		1・2	1			選択
学際プレゼンテーション入門		1・2	1			選択
研究力とキャリアデザイン		1・2	1			選択
PBLアドバンス		1・2	1			選択
大学院連携科目（別に定める）		1・2				選択

（備考） 全授業科目のうち、必修科目 28 単位及び選択科目から 1 科目以上で 2 単位以上計 30 単位以上を修得する。